



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第1941号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 野田 和秀 幹事 平出 利之



広重版画より 三島 朝霧

第2004回例会

2013.11.28晴

於:国立遺伝学研究所

司 会 栗原達治君

会長挨拶

会長 野田和秀君

皆様こんにちは。今日は職業奉仕委員会による国立遺伝学研究所での移動例会です。

遺伝研・広報の佐藤様には、大変お世話になります。クラブを代表して厚く御礼申し上げます。また、委員長はじめ、職業奉仕委員の皆様には、先月の職業奉仕セミナーに続き、本日の企画実行にご尽力いただきありがとうございます。

さて、「遺伝」といえば、私などは最近年をとったせいか、だんだんと自分の親に似てきたなと思うところが多々あり、「血のつながり」とか「遺伝」とかを実感することが増えてきました。昨日のニュースで、60年前に、産院で取り違えられてそのまま今日まで別の家族で、兄弟として生きてきて、60年後に、DNAのチェックの結果、実の兄弟でないことが判明し、裁判所でも判決が下り、本当の家族のところへ還った人の話がありました。そのなかで、やっぱりそうかと思ったのは、亡くなった母親が生前、その長男を弟達とは何か違うと感じ、病院に調査を依頼したり、執拗に事実関係を追っかけた結果、上記のような結末に到ったということです。それにしてもDNAチェックの前に感じ取る母親の眼の確かさですね。どちらにしても肉親にとっては極めて不幸な話ですが、決め手はやはりDNAチェックという最新の科学技術によるということです。

今日は、我々の職業とはまったくフィールドの異なる「遺伝学」という科学の基礎研究の場所です。こちらには三島市民としてはじめて文化勲章を授与された木村資生(もとお)博士という偉い先生がおられたようですね。「灯台もと暗し」で知らないことばかりですが、今日の例会が三島市民である我々の知見になにかプラスになれば幸いですし、また遺伝研では研究用の桜が多種多数あり、そちらでも有名ですのでご興味のある方には、今日のこの機会が有意義なものとなりますようお願いしまして、以上会長挨拶とします。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	39/48	81.25%	42/48	87.50%
今回	30/45	66.67%	会員総数	54名

欠席者 石井(良)君、亥角君、宇田川君、遠藤(正)君、勝間田君、川名君、窪田君、佐野君、登崎君、長田君、橋本君、花房君、村山君、森崎君、矢岸君

「東京物語」を観て

この映画を観ていて、重症の肩こり状態でした。映画が終り、会場を出た途端スッキリシャン!あれ何だったのだろう?ストーリーの如く年老いた夫婦が子供達を訪ねる、肉親と義理の接し方、まさに自分が嫁として娘として歩んだ道とオーバーラップしていたのだろうか。小津作品は人生の機微に触れる作品が多いと聞き及ぶがこの「東京物語」は60年前を感じさせない親子の心情が全く違和感がありませんでした。原節子の美貌と笠智衆の何ともいえない味のからみのシーンはメンタルではなく映像に見入ってしまいました。最近のメディアでは感じたことのない原節子の美しさにうっとりしました。

野田年度のスタッフの方々の、今年度を有意義なものとの意気込みが何えて心強い思いをいたしました。
BE BALANCED!でいって下さい。

柴崎恵子

幹事報告

幹事 平出利之君

- ①川真田裕さんの奥様をご逝去されました。家族葬で執り行われます。
- ②フィリピンの台風災害に募金をお願いします。

2013~2014年度
国際ロータリー会長
ロンD.バートン

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

卓 話

「遺伝研の桜」

樹木医 梅原欣二先生



自己紹介

樹木医として、遺伝研の桜の維持管理のお手伝い、昨年夏から遺伝研の所員ではない。

遺伝学研究所(三島市民の誇り)

遺伝研はすごい所です。「宝のもちぐされ」

研究所 遺伝学研究の世界トップレベル(留学生多数)

大学院大学 修士課程、博士課程 大学教授の供給元

第2代所長木原均 小麦=8倍体 ノーベル賞匹敵の功績

片山勇(宮崎大学)農学部育種学教授

育種学=品種改良

例)美味しい農作物が沢山取れる(遺伝研の間接貢献)

遺伝研の桜

遺伝資源の保存場所として指定された。(文科省)

研究対象 竹中要細胞遺伝部長 染井吉野

遺伝研の桜は何故スゴイ

桜のコレクションの双璧

遺伝研	森林総研多摩森林科学園 (農林省)
200種、400本	600栽培ライン、1300本
1.5ha 1950年代	8ha 1600年代

遺伝研の桜 = 遺伝研南側の桜並木

(遺伝研から三島市に寄贈)

染井吉野が30~40%、オオシマザクラ、ヤマザクラ、サトザクラ

遺伝研の桜の本体 = 遺伝研所内

三島市民は2度の桜鑑賞のチャンス有(一般公開)

案内書「遺伝研のさくら」

それぞれの銘柄の故事来歴等が書かれており、より深い鑑賞

桜にはたくさんの種類があることに驚く人もいます

「さとうにしき」も桜の仲間 西洋実桜

ROTARY NEWS

グアテマラの山間にある村エルテュニノは、きれいな水が利用できる場所が限られています。ここにある学校、エスクエラ・オフィシャル・ルラル・ミシュタの生徒たちは毎朝、教科書や教材を詰めたリュックサックを背に、山道を降りて学校に通います。以前は、このほかにも飲み水を入れたバケツを持って学校へ行っていましたが、もうその必要はありません。グアテマラのグアテマラスール・ロータリークラブと米国のいくつかのクラブがロータリーのグローバル補助金を活用し、この学校に手洗い場、トイレ、キッチン器具を寄贈したからです。

グアテマラの辺地では、女性や子どもたちが、毎日5回、45分も歩いて水汲みにいくことも稀ではありません。水源がすでに汚染されていても、それを飲み水、洗濯、料理などに使うしかないのです。

この学校のホルヘ・ルイス・チキト校長は、学校できれいな水とトイレが使えるようになったことで、汚染水によって生徒たちが病気になることが少なくなり、病欠が減り、学業に専念できるようになったと言います。「ロータリーの援助のおかげで、子どもたちだけでなくその家族の生活も改善されました」

エルテュニノがある第4250地区では、ベリーズ、グアテマラ、ホンジュラスのクラブが合計43口のグローバル補助金の提唱者となり、そのうちグアテマラ・スール・ロータリークラブは、主にきれいな水を提供するプロジェクトを行うため、5口のグローバル補助金を提唱しました。このクラブの会員でもある、ホルヘ・アフランク元地区ガバナーは、「水がないところではいざれ紛争が起こり、平和はありえない」と述べます。

同じくエルテュニノにあるラアンチグア・サカテペケーズ・ロータリークラブも、グローバル補助金で、別の村に飲み水の殺菌システムとトイレを設置しました。クラブは、米国ユタ州のセンタービル・ファーミングトン・ロータリークラブや、グアテマラの各地で健康状態を改善することを目的とするNGO、Behrhorst Partners for Developmentと協力してプロジェクトを実施しました。

(週報担当:米山 寛)